

令和7年度 第2回 史跡カリンバ遺跡整備検討委員会 議事録

場所：オンライン（恵庭市役所 3階 302会議室）

日時：令和8年1月27日（火） 15時00分～16時00分

出席者：

（委員）高瀬克範、西村聡、吉岡亜希子、吉田恵介、脇谷草一郎

（オブザーバー）北海道教育庁主査 内田和典

（関係機関）①北海道造園設計株式会社 代表取締役 佐藤俊義

②市建設部土木課 課長 田中徹、主査 野呂潤一、
主任技師 吉田健人

（事務局）教育委員会教育部 教育部長 狩野洋一、教育部次長 山口晃弘

郷土資料館 館長 高野隆司、主査・学芸員 長町章弘
主査・学芸員 鈴木将太

議事録

1. 開会

2. 挨拶

3. 議題

(1) 令和7年度予算の執行状況と令和8年度予算について

<事務局> 資料1の2・3ページを説明。

<A委員> 先行して購入するサイン類の内訳や金額は前回の委員会で出ていましたか。

<事務局> サイン類の設計に関しては前回の委員会でも提示しておりました。その後、サイン類を先行して購入する方向で目途が付きましたので、今回金額を提示しました。盤面の印刷は令和9年度で、今年度は支柱2本と印刷していない盤面のみを購入します。

<A委員> 1基当たりの価格が結構高い印象を受けました。

<事務局> サイン類6基とベンチ2基で、全部で8基になります。1基当たりは50万円程度となります。細かく言いますと、総合案内板等は70～80万円前後になり、ベンチは30万円前後です。

<B委員> サイン類を現地に建てた状態で冬を越すのですか。

<事務局> そうではなくて養生して令和9年度まで室内で保管します。

<B委員> それは国の補助事業として認められているのですよね。

<事務局> はい、確認しています。

<C委員> 3ページの令和8年度予算の中で「市単費」と記載があるものが旧サイロ解体の予算でよろしいですか。

<事務局> 旧サイロ解体と駐車場部分の基礎工事の費用となります。

<C委員> 旧サイロ解体はいくらくらいかかりますか。

<関係機関A> 直工で概算400万円くらいです。

<C委員> わかりました。他に意見が無いようですので、この議題については承認ということにさせていただきます。

(2) 史跡カリンバ遺跡整備実施設計について

<事務局> 資料1の4～6ページを説明。

<関係機関B> 実施設計図面1～21の概要説明

<関係機関A> 史跡カリンバ遺跡整備工事 工事スケジュール(案)の説明

<B委員> 『史跡カリンバ遺跡整備工事 工事スケジュール(案)』について質問です。令和8年12月に一旦工事が終わりますが、その後史跡現地を公開するのですか。

<事務局> 令和8年度の冬は工事が完了していないので、人が入るのが危険な場所は囲うなどして立ち入り禁止とする予定です。令和9年度の10月に今回の工事が完了する予定ですが、その後雪が降るので、実質的なオープンは令和10年度春頃を想定しています。

<B委員> 令和8年度は基礎工事をするということで、完成前なのでそこが浮いていたりすると良くないのでは、と心配で質問しました。

解説板3(Aタイプ)の前に置くコンクリートブロックを取りやめるのは、雪などで滑ることもあるので賛成です。ただ、解説板の高さが大人には低いので、解説板の上部に「大人は屈んで見てください」といったキャプションを付ける、または解説板の脚部を途中から折り曲げるなどすれば誘導的な意味が出てくるのではないかと思います。もう一点は実施設計図面1の「一般平面図」です。この図を見ると道路から多目的広場への入り口の部分がカーブではなく直線的に見えるのですが、その辺はどうなのですか。

<事務局> 解説板3は既に先行購入することで動いております。今から設計を変えることは難しいので、キャプション等を検討していきたいと思います。

<関係機関B> 実施設計図面21の「仮設工平面図」をご覧ください。大型車両が余裕をもって曲がれる設計としております。

<B委員> 入り口の部分はカーブではなく直線で検討したのですか。

<関係機関B> はい。

<B委員> それは良くないと思います。運転手の技量にもよりますが、一般的

には入りやすいようにRを付けて造った方が車が入りやすいと思います。縁石も壊されなくて済みます。

<関係機関 B> ここは歩道の低下により歩道を維持しながら進入路を造る場所なので、巻き込みは不要と考えます。

<B 委員> 最初に3mR程度付けた方が入りやすいと思います。私が過去に設計したときは、必ずRを付けました。

<関係機関 B> Rを付ける場合は道路に接道となるので交差点協議が必要となります。なお、今回は道路ではなく歩道の上を跨ぐ、歩道を低くする形なのでRは必要ないと判断しました。

<B 委員> いろいろな考え方があるようですから。はい、以上です。

<C 委員> 現在、歩道はどうなっていますか。

<関係機関 B> 今は低下縁石ではなく歩道で段差があるので、縁石を外して低くして、車道にすり付けます。皆様のご意見も伺いたい。

<C 委員> 今のお話は交差点に近い右側（東側）の入り口ですか、それとも左側（西側）のことですか。

<関係機関 B> 左側の出入り口には道路管理者の交通標識がありません。出入口はそれを避けたギリギリのところですので、ここも巻き込みを造るのは非常に困難です。ですので、大型車がきちんと曲がれるスペースを確保する方がコストの面でも有効ですので、これを採用しました。

<B 委員> 個人的に納得できませんが、市の建設物ですので。

<C 委員> ここの駐車場は車が左（西）から入ってくるケースが多いのですか。

<関係機関 B> そうなります。

<D 委員> 将来的なことを考えると、是非多くの方に来場してほしいならここはしっかりと考える必要があると、B 委員のお話を聞きながら思いました。

<C 委員> ここを B 委員のおっしゃるように工事しようと思うと物理的に難しいのでしょうか。

<B 委員> 私が設計した例では、公安委員会と話をして道路標識を移設してもRを付けました。いろいろな運転手がいるので、また雪などで路面が見えなくなることもあるので、私は過去そのように設計してきました。

<C 委員> B 委員の言うようにやった方が良いのであればそれが良いとも思いますが、市の考えはどうでしょうか。

<関係機関 A> 今、関係機関 B が説明した通り、縁石が高いので出入りするのには縁石を低くする必要があります。その中で、低下縁石が良いのか、B 委員が言われた巻き込みが良いのかですが、近年市で広場整備した例では公安委員会との協議で基本的には巻き込みではなく低下縁石にするように、という指示が多いです。ここの低下縁石に関しても公安委員会や市の道路を維持管理している

担当課とも協議していく必要がありますので、協議の中で巻き込みができるかどうか確認していきたいと思います。

<G 委員> 予算的にも現実的にも巻き込みが実現可能なのであれば検討してみてください。後々のことを考えると、そちらの方が良いかもしれません。

<E 委員> 先行購入するアクリル板が付いた解説板 3 ですが、アクリル板を屋外に置くと劣化が激しいと思いますが、それについて検証しましたか。過去には遺構が見えるようにアクリルで蓋をした展示施設も多くありましたが、アクリルが白く変色したり結露したりする難しさがあるので、その辺についてお聞きしたい。また、その検討をしていないのであれば恵庭市が想定しているより早く劣化することも考えられるので、その辺についてもどうお考えかお聞かせください。

<事務局> 以前の委員会でも話に出たのですが、アクリル板は耐久性に劣るということで、園路を歩けない冬はブルーシートで板を覆うなどして劣化を遅らせる計画です。アクリル板が付いた解説板 3 は契約したばかりで製作には取りかかっていないので、業者にも相談してみます。

<G 委員> これについては何回か議論したと思います。やはりコストの面でガラスよりはアクリルになってしまい、アクリルが劣化して描かれた絵や文字が見え無くなればアクリルを交換するという話だったと思います。E 委員はアクリルだと 2 年位で劣化するとお考えですか。

<E 委員> 何年位かは一概には言えませんが、直射日光が多く当たるような形状であれば劣化は早いかなと思います。視認性は落ちますが透明塩ビなどは長持ちするとは思いますが。以前の議論を失念しており失礼しました。

<G 委員> 確かに耐久性は心配ですが、コスト面等を考えアクリルを採用しました。

<関係機関 B> 前の話に戻りますが、実施設計図面 21 の「仮設工平面図」のタイヤの軌跡ですが、この絵はパワーステアリングを考慮していないので、実際はもっと鋭角に曲がることができます。むしろいちばん運転技術の未熟な人を想定した軌跡になっています。

<事務局> 巻き込みの件ですが、市の道路管理者や公安委員会の協議からすると、現時点で新たに巻き込みを造るのは難しいのではないかと考えられます。歩行者の安全を確保するには歩道をきちんと確保する必要がありますので、縁石は歩道としての機能を持たせつつ車が出入りできる低下までは協議の中で認められると思いますので、その中で車が入りやすいような構造をできる範囲で検討していきたい。北海道造園設計の方でも現在の設計で安全な出入りが十分可能としておりますので、巻き込みではなく低下の中で検討させていただきたい。

<C 委員> 今回の工事に際しプレハブ等を置く予定ですか。

<関係機関 A> 現場事務所等は受注業者の考えにもよりますが、下に遺跡がありますので置くとしても遺跡に影響を与えないような構造で置く可能性はあります。

<C 委員> 工事の間、史跡を壁等で囲いますか。

<関係機関 A> 市街地の工事でよく見る鉄製の高い壁で囲うようなことは考えていませんが、部外者が入ってこれないようにオレンジネット等で囲うことはあるかもしれません。

<C 委員> 最初に園路等の基礎工事を行うとのことですが、その工事の途中でバックホーなどの重機が上を通ることで遺跡に対し問題ないのでしょうか。

<関係機関 A> 最初に砂利などを 20 cm位入れます。それは粗造成といって完全には仕上げませんが、重機が乗っても遺跡に影響を与えることは無いと思われれます。

<D 委員> スケジュールを見ると令和 8・9 年度は工事が続きますが、史跡を見学したい人への配慮は難しいですか。

<事務局> 低地面等工事しない部分もあるので、史跡の解説は可能と思われれます。

<C 委員> 旧サイロを解体した際に出る島松軟石のブロックは廃棄するのですか、または何か活用しますか。

<事務局> ブロックの活用はコストがかかるということで、処分する方向で考えています。軟石でも貴重なものであれば資料館での一部保管も検討しましたが、今回出る軟石はそれ程貴重なものではないとのことで、基本的には処分を考えています。

<C 委員> わかりました。他に意見が無いようですので、この議題についても承認ということにさせていただきます。

(3) 史跡整備と委員会について

<事務局> 資料 1 の 7~10 ページを説明。

<D 委員> 我々委員は今年度末で解散しますが、今後新しい委員によりガイドンス施設等の検討が進められていくと思います。先日千歳市のキウス周堤墓群に行きガイドの説明を聞きながら見学しましたが、説明があると史跡がより理解でき印象も変わりました。今回カリンバも国や道から補助金をいただき園路や解説板を整備しますが、そのあとはガイドの育成が大事になってくると思います。早めにガイド育成等を準備し、令和 10 年度のオープンと同時に多くの方々が来て下されば良いと思います。市民の協力を得ながら、きちんと準備を進めていただきたい。

<C委員> たしかにこれからソフト面の整備も考える必要があります。他に意見が無いようですので、この議題についてもこれで終わりということにさせていただきます。

(4) その他

<C委員> ようやく来年度整備に着手できるとのことで感無量です。市の努力に敬意を表します。また委員並びにオブザーバーの皆様のご協力にも深く感謝します。どうもありがとうございました。

<事務局> 実施設計の最終版が3月に完成しますので、委員並びにオブザーバーの皆様にはメール等で送付させていただきます。

4. 閉会